

令 6 年度ふるさと創生 N P O 連携促進事業報告書

団体名	特定非営利活動法人 おおいた環境保全フォーラム	
1. 事業内容について、進捗状況報告書をまとめるような形で記載してください。 事業実施地は、豊後水道県立自然公園の四浦半島に位置し、我が国有数のリアス海岸の津久見湾口にある株式会社マリーンパレスが運営する体験施設つくみイルカ島及びウミガメが回遊し、アカウミガメの産卵地の四浦半島である。 豊後水道沿岸域は、瀬戸内海からの海流と南からの黒潮の恩恵を受け優れた生態系と豊かな生物多様性を形成している。特に温暖な海と豊富な餌資源を求めて沢山のウミガメが回遊する我が国有数のホットスポットとなっている。 水産業が盛んな豊後水道沿岸域では、漁業により毎年 1 0 0 0 頭を超えるウミガメ種が錯誤捕獲され、そのうち約 2 0 % の個体が身体に何らかの損傷を受け、5 % 程が瀕死の状態で海に放流されており、絶滅危惧種ウミガメ種の更なる保全が危急の課題となっている。そこで当法人では、2 0 1 8 年から漁業により錯誤捕獲されたウミガメのうち衰弱している一部の個体を一時的に保護飼養して衰弱原因の調査、治療と並行して海洋プラスチック誤食調査を実施していたが、2 0 2 2 年 9 月の台風 1 4 号により佐伯市米水津間越の保護施設及び佐伯市鶴見下梶寄の飼養調査施設が甚大な被害を受けた。 そこで当該事業により、今年度、イルカ島へ飼育施設の移設を行った。 事業内容は、 1. つくみイルカ島館内への保護飼養施設の移設、設置及び飼養設備の整備 豊後水道沿岸域において漁業によって錯誤捕獲され即時放流が難しい衰弱個体約 1 0 頭を収容し飼養治療する仮設水槽（Φ1200）2 基を設置し、海水汲上ポンプ等の水槽管理設備を整備した。また飼養を終え野生復帰までの期間、仮収容する生け簀を館内海上に敷設した。 2. 保護ウミガメの飼育管理及び治療管理 ウミガメ飼養管理員として獣医師の助言、指導の下動物愛護法を遵守しウミガメ飼養、治療を行う動物取扱責任者を育成し適正に配置した。 3. ウミガメ保護飼養プログラム体験ツアーの企画、開発 ウミガメ保全のための保護飼養、治療、調査、野生復帰までの保全プログラムを活用し、これまで以上に魅力ある見学、体験ツアーを企画、立案する。 4. 四浦半島を周遊するウミガメ野生復帰ツアー企画、開発 大分県で数少ないウミガメ産卵地である四浦半島先端部の高浜海岸を放流場所としたウミガメ野生復帰見学ツアー企画、立案する。 5. モニターツアーの企画、運用 ウミガメ保全プログラムの過程を見学、体験する野生動物観光コンテンツの企画開発の検証のためのモニターツアーを 1 0 月 1 6 日及び 1 1 月 1 6 日の 2 回開催。 ツアーコンテンツのサーベイリサーチ及び評価、検証を行い、必要に応じ改善策等を検討し次年度の本格的な事業開始に備える。		

2. 事業を実施している様子等が分かる写真を4枚以上添付してください。



3. 来年度以降、事業終了後、その効果や結果が継続されるための取り組み

2025年度事業計画

1. つくみイルカ島館内（以下、館内）に保護飼養施設を増設及び飼養設備の整備

錯誤捕獲されたウミガメの保護飼養頭数を30頭程度まで収容可能な水槽設備2基を増設する。また保護飼養個体の増加に対応した仮収容する海上生け簀の改修、改善を行う。

2. 保護ウミガメの飼育管理及び治療管理

継続的な適正運営に必要なウミガメ飼養管理業務を2人体制での運用を想定し、動物取扱責任者を育成する。

3. ウミガメ保護飼養プログラム体験ツアーの運用

利用者のニーズに対応したコンテンツを企画提供するための効果的なプロモーションを推進する。特に専用ホームページ開設やSNSなどを活用して情報発信するほか、ターゲットの属性に合うメディア掲載、モデルツアー等へのライター招聘による記事掲載など広報、周知活動を積極的に展開し、2025年7月からウミガメ保護体験プログラムツアーの本格運用を開始する。